

## 研究授業「保育実習事前事後指導」の実施

影 浦 紀 子

### **Enforcement and reflection of an open class “Prior-after guidance of child care practice”**

**Noriko Kageura**

#### Abstract

This paper is the record of an open class performed in the Department of Early Children Care and Education of Takamatsu Junior College.

The content of this class is an outline of the child care practice and manners of the child care. The aim of this class is two. First, it is understanding of the orientation in the practice facilities. Secondly, manners requested as a member of society are understood, and acquired.

In this paper, first of all, the purpose and the trait of the class are arranged. Next, the appearance of the development of an actual class is recorded. Finally, the ideal way of the class is considered basing the class conference held after the class.

Key words : Open class, conference

#### はじめに

本稿は、平成15年度から高松短期大学保育学科で実施されている授業改善のための事業「保育学科における教員の授業研究の実施」（大学教育高度化推進特別経費 平成17年教育・学習方法等改善支援経費）の一環として行われた「保育実習事前事後指導」の研究授業の記録である。本学科での研究授業は、今回で7回目を数える。本講義は、平成17年度としては2回目の研究授業である。

## 1. 研究授業の日程

研究授業および、検討会は次の日程で行われた。

### ○ 研究授業

日 時：平成17年12月8日 4校時 14：40～16：10

場 所：A31号教室

授業科目：保育実習事前事後指導（担当：影浦）

### ○ 検討会

日 時：平成17年12月8日 4校時 14：40～16：10

場 所：A館1階会議室

## 2. 本講義の目標と授業の特色

この授業は、平成18年1月31日から始まる保育実習Ⅰの事前指導である。カリキュラム上は後期からの授業であるが、実習の心得やマナーなどを含め基本的なことをおさえるために前期6月より4回先行して開講した。前期授業の主な講義の内容は、保育実習の概要と保育のマナーに関する内容である。後期は、これまでの学生の学びの確認に加えて、実習日誌・保育記録や指導案の書き方など指導計画や、保育技術にかかわる内容を強化して実施している。また、これらの学習に加えて実習に必要な書類作成や手続きも並行しておこなっている。

主な授業の流れ・特徴としては、1. 保育の実践的技術習得、2. 前回の授業の感想の紹介、3. 授業の内容、4. 授業の振り返りに分かれる。

1. については、手遊び、指遊び、わらべ歌、ペープサート、パネルシアターを実践を直接見て、実践して体験的に技術習得することをねらいとしている。2. については前回の授業の後に書いた感想の中から、質問事項などを紹介する時間である。これは、既習事項の確認と実習にたいする不安や疑問の共有、不安の解消をねらいとしている。3. は、実習手続きや書類作成に関する説明や、保育の内容にかかわる説明の部分である。4. では、授業全体を通して、感じたことや疑問に思ったことをB5半分の大きさの用紙に自由に記述する時間である。授業の内容にあわせて、ワークシートを使って記録するなどの作業になることもある。授業の進め方における問題点として、毎回、時間が足りず、説明不

足になってしまったり、開講時間が、5校時であるために、焦ってしまい、大切なことを言い忘れたりすることである。

### 3. 学生の姿

受講している保育学科1年生(92名)は、はじめての学外での実習ということで、多くの学生たちが緊張しており不安を抱えている。とくに、前期において高校時代に経験したボランティアとの違いを強調したことも影響している。そのためか、授業は比較的静かで熱心である。指導にあたっては、既習事項の復習にとどまらず、保育実習において身につけるべき知識、技術を確実に身につけるとともに、学生の不安をいかに学習意欲に変えるかが課題である。

### 4. これまでの講義内容と学生の理解の流れ

これまでの講義の内容と学生の理解と動きについては以下のとおりになっている。

《前期》

	講義の内容	学生の理解と動き
第1回 (6/22)	保育実習とは	2年間を通しての実習の計画について理解する。
第2回 (6/29)	施設実習とは	保育実習Ⅰにおける社会福祉施設実習の目的、実習施設の種別について理解する。
第3回 (7/6)	保育所実習とは	保育実習Ⅰにおける保育所実習の目的、幼稚園と保育所の違いや保育所の役割について理解する。
第4回 (7/13)	保育実習Ⅱの自己開拓について	保育実習Ⅱについて理解するとともに、実習と就職について意識する。

《後期》

	講義の内容	学生の理解と動き
第1回 (10/5)	実習先の確認 誓約書・評価票	誓約書を書き、保護者の同意を得ることで実習への責任と自覚を持つ。

第 2 回 (10/12)	保育の記録①	保育における観察力と記録力を養う。保育の流れを理解する。
第 3 回 (10/19)	保育の記録②	保育者の意図を理解する。
第 4 回 (10/26)	保育計画を立てよう①—指導案の書き方	子どもの発達を理解する。
第 5 回 (11/9)	保育計画を立てよう②	環境構成，保育者の援助と配慮について理解する。
第 6 回 (11/16)	児童養護施設讃岐学園の先生のお話（学外講師）	児童養護施設について理解するとともに実習をイメージする。
第 7 回 (11/21)	保育所実習をイメージしよう—個人票の書き方	VTRを利用して保育所の一日を理解し，実習課題を立てる。立てた課題を見てもらいさらに深める。
第 8 回 (11/24)	知的障害者施設のぞみ園の先生のお話（学外講師）	知的障害者施設について理解するとともに実習をイメージする。
第 9 回 (11/30)	施設実習について①	利用者とのコミュニケーションのとり方について理解する。

## 5. 本時の授業展開と考え方

### (1) 本時の授業の目標

今回の授業では、二つのことをねらいとしている。第一に、実習施設でのオリエンテーションがどういうものなのか理解し、具体的にイメージすることである。第二に、社会人として求められるマナーについて理解し、習得することである。

マナーについては、前期においても「保育のこころ（マインド）」として、どういったマナーが必要であるのか、実習までにどんなことを身につけておきたいか、などを学んできている。そこで、ここでは、前期で学んだことを踏まえてより実践的に保育のこころ（マナー）を身につけたい。

### (2) 準備物

まず、オリエンテーションの概要とマナーについて理解し、実践するためのワークシートを準備し、配布した。そして、教材として、ビデオ『保育のこころとマナー—はじめて

の保育実習第1巻』（V-tone 新宿スタジオ）を使用した。これは、実際の保育実習のオリエンテーションをイメージし、オリエンテーションで質問することを考えるための手助けとするためにである。

また、前回から引き続き、個人票の作成作業があるため、個人票・自己紹介カードの清書用紙（各自2枚ずつ）を準備し配布した。そのほか、オリエンテーションの報告書と封筒を代表者にのみ配布した。

### (3) 本時の展開

#### ①導入

手遊びを実演することによって学生に余計な緊張がもたせることがないように配慮するとともに、学生の手遊びする様子、笑顔やノリを評価することを心がけ、自信へつなげる。また、前回の授業で提出したそれぞれの実習課題を書いた個人票を返却し、共通の課題やさらに課題を磨く意識が持てるように評価したい。

#### ②展開

実習施設における事前オリエンテーションについて解説する。

まず、ビデオや『実習の手引き』によってオリエンテーションのイメージする。また実際にオリエンテーションでどんなことを質問したいか考えるためのヒントとして、ワークシートに質問事項を記入しながら視聴する。

次に、保育マインドについて理解する。保育におけるマナーの重要性やマナーの実際について書かれた文献を紹介したり、エピソードを紹介することで自ら身につけ実践したいと思えるように配慮したい。その上で、オリエンテーションに際して必要な電話のかけ方や訪問の仕方について理解する。電話のかけ方においてはロールプレイを取り入れ、訪問の仕方においては、ワークシートの中の間違いを探すという作業によって、具体的にマナーを理解する実践できるよう工夫をしている。

#### ③終結

本時の授業の内容を振り返るとともに、感じたことをミニレポートに記入する。

このレポートのねらいとして、一つは、授業を一方向的にならないようにするための配慮がある。92人という受講生の数のため、学生一人ひとりの感想や疑問に寄り添いにくい。

そこで、授業でわからなかったことや疑問に対して次の授業でできるだけ答えるようにしている。このことが、前回の授業の復習にもなっている。

もう一つのねらいは、「2. 本講義の目標と授業の特色」でもすでに述べたが、このレポートに実習に対する不安や疑問をぶつけてくることが多いため、それを全員の前で発表し、共有することで、「私だけが不安なのではないんだ」という安心感につながるという効果がある。授業者は、その不安を受け止め、助言することによって、学生の不安が解消され意欲へと結び付けられるように配慮している。

## 6. 本時の指導案

本時の指導案として配布した資料を掲載する。当日学生に配布したワークシートは資料にある。

	内 容	指導の留意点
導 入  展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手遊び</li> <li>○個人票の書き方について理解する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 返却</li> <li>・ 清書についての説明を聞く</li> </ul> </li> <li>○事前オリエンテーションについて理解する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオを視聴しオリエンテーションのイメージする</li> <li>・ プリント、手引きにより具体的に内容を理解する</li> </ul> </li> <li>○保育マインドの実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エピソードを読み、マナーの大切さや意味について理解する</li> </ul> </li> <li>・ 電話のかけ方について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の様子（表情や振り）を評価する</li> <li>・ プリント類の配布，返却を効率よく行う</li> <li>・ 保育マインドという言葉について，前期に書いたプリントを手がかりに確認する</li> <li>・ エピソードを読んでマナーは心と心をつなぐものであり，信頼関係の形成に大きな役割を果たすということを意識づける</li> <li>・ オリエンテーションに限らず社会人として身につけておくべきことであることを強調する</li> </ul>

終 結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロールプレイをして体験的に理解する</li> <li>・ ロールプレイを早く終えた学生はワークシートをする</li> <li>・ オリエンテーションでの服装，言葉遣い，態度について，イラストの間違い探しをすることで理解する</li> <li>○ミニレポートを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 混乱が予想されるが，余分なおしゃべりはしないこと，真剣に取り組むこととする</li> <li>・ 机間巡視。それぞれの役割をやってみてどうだったか反応を見る</li> <li>・ 連絡事項：乳児保育おもちゃの展示について</li> </ul>
--------	---	--

## 7. 授業を終えての自己省察

### (1) 全体の印象

今回の授業全体の印象としては，ほぼ指導案での計画通り行うことができた。一部，導入の段階で実施するはずであった「実習生個人票」の返却が，準備が遅れてしまったために，授業の最後に移動してしまったが，事務的な手続きが主であったため，学生の学習に支障はなかったと考えられる。

一方で，毎回の授業でも感じていることではあるが，こなすべき内容が多すぎて時間が足りないという実感である。おそらくこうした授業者の実感が学生にとっては，さらにめまぐるしく授業が展開していく落ち着かない1時間という印象を与えていることだろうと思う。

### (2) 授業の目標に関する評価

今回の授業では，①実習施設での事前オリエンテーションがどのようなものなのか理解し，具体的にイメージすること，②社会人として求められるマナーについて理解し，習得することをねらいとしていた。これらの目標について授業後の感想（ミニレポート）から考察したい。ある学生の感想によると，

「特に印象に残ったのはマナーの大切さでした。忙しいときや両手がふさがっていると，つつい足を使ってしまいます。それを子どもたちが見たらどうなるのか，今回初めて考

えました。マナーはとても大切です。今からマナーについて勉強しても遅いと思うけれど、しないよりはいいと思うので、『保育者のちょっとしたマナー』を読みたいと思った。」

単にマナーの大切さを、表面的に技術的にこなすものとしてでなく、保育者、保護者、子どもとの信頼関係を形成するための橋渡しとして大切なものなのだという基本が定着されたことがよくわかる。しかし、こうした保育マナーの本来の意味を理解した上で実践的に取り組んだ学生は少なかった。多くの学生は、以下のような感想を持っていた。

「授業で学ぶときには『なんだ当たり前の事やん』って思うけれど、その当たり前の事ができていないんだなあと思いました。今日の授業では実習前に振り返らないといけないことがいろいろ見つけることができてよかったです。」

「今日したロールプレイングで私は実習生役をしました。いつも言い慣れていないため、かんだりつまったりして、スムーズに言えませんでした。先生が普段から言いなれていないと実習に出てから困るとおっしゃっていたので、言葉遣い、態度に気をつけて生活したいです。」

以上のように、多くの学生に学びとして定着したのは、電話のかけ方、言葉遣い、姿勢、挨拶などの技術的なマナーについてであった。原因の一つとして考えられるのは、授業の方法の問題である。

### (3) 授業の方法について一体験を意味づけること・学びの定着の問題

今回の授業では、教師による説明、講義だけでなく、ワークシートを使ったり、ロールプレイを入れたり、ワークショップ形式を多様に取り入れることができていたと思う。しかし、ただ体験を保障しただけで学びの定着にいたっていなかった。

まず、導入の手遊びの紹介である。この手遊びでは、単にこういう遊びがありますよと紹介するだけでなく、実演と体験をともなった紹介している。それは、実感として手遊びが楽しいという感覚をもってほしいということと、どのようにして子どもたちの前で演じるのかということも体験してほしいと思うからである。今回は、「じゃがいもめだした」

というわらべ歌を紹介した。大きな動きから小さな動きへ変化させることなど、保育の展開としても理解してくれたようである。また今回のロールプレイへの導入として（勝った人が先生役をする）も有効であった。しかし、後で振り返ると、手遊びの後、保育の展開を意識していることなどの指導、例えば、「子どもたちも前で手遊びをするときにも、大きいじゃがいもから小さいじゃがいもにいくと集中力が高まります」などの解説が必要であったと考えられる。

また、ロールプレイに関しても同様の定着のための指導が不十分であった。つまり、授業後の検討会（カンファレンス）で「ロールプレイ（電話のかけ方）、訪問時のマナー等では学生を指名してどんどん発表させたほうがよいと思います。」「練習問題（電話のかけ方）を解かせる際、学生に質問し、答えさせれば、学生の授業への参加をよりうながすことができたように思います。」という意見をいただいたように、ロールプレイの活用の仕方という点においては、学生の学びの充実の点でまだ不十分であったと言えるだろう。どうしても92名という人数の多さに、数人の学生を指名して発表させるということに抵抗があった。しかし、学生の立場にたてば、あるいは客観的に授業を見直してみると、代表者が意見を述べるということは、自分の問題によりひきつけやすいと考えられる。今回の授業を改めて記録していただいたDVDを見直し、楽しい活動は用意しているが、やや活動主義に走り、やりっぱなしで終わっているようにも反省した。どのような問題が、やはり、授業後の検討会で指摘していただいたことだが「授業中に紹介した本の著者名、著書名、出版社名を黒板に表記すればよかった」ということも、単に紹介して、テーマ（この授業では保育マナー）について今、保育現場で問題になっているという喚起にはなったものの、興味ある学生の学びには応えることができていなかった。

さらに、記録を見直してみて、気がついた点として、今回一度も黒板を利用していなかったということである。ワークシートを使いながら授業を進めたのであまり意識していなかったが、授業後の学生の学びの定着という意味では、黒板に伝えたかった今回のテーマ、意識してほしい言葉（例えば保育マナーなど）を板書しておく必要があったと考えられる。

## おわりに

今回の研究授業を終えて、また後に行われた検討会（カンファレンス）、DVDによる

記録を見て、あらためて自分の授業の問題点、癖などを発見することができた。とくに検討会では他学科の教員の意見がとても参考になった。たくさん的人数で一斉に授業をすることが多く、見落としがちな授業の方法や本の紹介の方法など、丁寧におさえるべきところについて気がつくことができた。

また、記録においては今回、教師の動きと学生の動きを画面を4分割にして記録したDVDを作成していただき、普段、見えていない学生の姿も見ることができた。この記録から、授業者自身の話し方や机間巡視が不十分であることなどの癖を発見することもできた。

最後に、未熟な授業者の研究授業に協力していただいた学生をはじめ、貴重なご意見、評価をくださった諸先生方に感謝いたします。

#### 参考文献

清水エミ子『保育者のちょっとしたマナーと心配り』学陽書房，2002年。

米谷美知子，福田勝恵，神長美津子『キラッと光る保育者のマナー』ひかりのくに，2005年。

実習施設でのオリエンテーション  
—保育の<sup>マインド</sup>こころの実践—

---

I. 実習施設での事前オリエンテーションとは

1. 目的

- ・実習に関して具体的な説明を受ける
- ・実習施設の見学
- ・実習生と受け入れ施設の相互の不安を解消

2. 時期：実習開始2～3週間前

3. オリエンテーションのための準備

- ・質問事項をまとめる（ワークシート）
- ・同じ実習先同士で相談
- ・電話連絡（＊）

4. 打ち合わせの主な内容

5. 訪問する（＊）

- ・服装
- ・言葉遣い
- ・態度

6. 訪問後

- ・オリエンテーション報告書の作成
- ・日誌の記入
- ・事前の学習

◆ ワークシートーオリエンテーション当日に質問することを整理しておこう

(1) オリエンテーションまでに、質問項目を各自がきちんと用意しておきましょう。「何がわからないのか」「なにが不安なのか」といったことを明確にしておくことです。もちろん事前に調べればわかることは質問せずに、実習施設の担当者でなければわからないことを尋ねましょう。

保 育 所	
施 設	

参考：オリエンテーションで聞いておきたいこと

- ・ 実習中の勤務時間
- ・ 何歳児クラスに入るのか
- ・ 園の目標、園内の部屋の配置、各クラスの人数、担任の数、園の特徴など（園のしおり・年間行事計画などの資料をいただきましょう。）
- ・ 服装について（エプロンは必要か、ジャージでいいのか、園指定の保育着があるのか、名札はどうするのか、上履きはどんなものがよいかなど）
- ・ 実習日誌を見てもらい、いつ提出するのか確認する
- ・ 部分実習などをどのクラスでいつ行うのか
- ・ 昼食について（給食費はいつ払うのか尋ね、払い忘れのないように）

\* 実習で主体的に活動できるように、オリエンテーション時に解決できることはすませておこう。交通手段や所要時間を再度確認しておくことも忘れずに。

(2) 複数の実習生が同一園で実習する場合は何人もが同じ質問をすることがないように相談しておこう。

## Ⅱ. 保育の<sup>マインド</sup>こころの実践—マナーの大切さ

水道で手を洗った私がぬれた手をエプロンでふいて、その場をはなれようとした時、「先生はエプロンでふいてもいいの？わたしたちはハンカチじゃなくちゃだめなの？」と年中組みの女兒が言ったのです。私は、顔を赤らめて、「先生急ぐから」と弁解して立ち去ったのです。

また、保育室での遊びを見守っていた私が、片足で段ボール箱（空箱などが入っている）の位置を直した時です。それを見ていた年少組みの男児がフーツと深く息をついて、私を見て、「先生の足、いまは、手になったの？へんしんさせたの？」と言葉を渡したのです。私は、ドキンとあわてて、床にひざをつけて、その男児に向かって、「ごめんなさい。今、先生、間違えたのよ。ちょっとめんどくさかったから足でやってしまったのよ。いけなかったわね。ちゃんと手でやらなくちゃ」と言って、両手でダンボール箱を持ち直し、置き直したのです。するとこのとき、男児は、ホッとしたりやわらかい笑顔私に見せてくれたのです。

こんな日常茶飯の礼儀作法、マナーを大切にしていかななくては、子どもたちと心をつなげ、心と心の話し合い、信頼関係を、正しくもつことができないと、私は、子どもたちに「ごめんなさい」とおわびをし、もう一度、子どもたちときちんと向き合い、人間としてのマナーを見直してみなくてはと反省したのです。…（中略）…ほんのちょっとしたマナーこそ大切にしなければいけないのです。自然にマナーが守れる心は、相手を大切に、生活を楽しみ、感謝の気持ちをもつことではないでしょうか。

（清水エミ子『保育者のちょっとしたマナーと心配り』学陽書房、2002年）

### 1. 電話のかけ方…見えない相手にもおじぎの気持ちで

- (1) まず名前を名乗る
- (2) 相手の都合を聞く
- (3) メモを取る
- (4) 復唱する

#### ◆ 練習問題

保育実習を受講する「高松短子」。実習にむけてのオリエンテーションをお願いするため、実習担当の先生に電話をかけるところです。

職員：はい、〇〇保育園でございます。

短子：わたくし、高松短期大学2年の高松短子（A. です。B. と申します。C. とおっしゃいます。）

1月31日から2月10日まで、保育実習でお世話になります。よろしくお願ひします。恐れ入りますが、実習の事前オリエンテーションについてご相談したいのですが、実習担当の先生は（A. おりますか？ B. いますか？ C. いらしゃいますか？）

担当：お待たせしました。実習担当の△△です。

短子：わたくし、高松短期大学2年の高松短子と申します。1月31日から2月10日まで、（〇名が）保育実習でお世話になります。よろしくお願ひします。今日は、実習の事前オリエンテーションの件で、お電話したのですが、いつお伺いしたらよろしいでしょうか。

…交渉・相談…

《先方の指定した日に行けない！》

短子：（A. 勝手なお願いで申し訳ございませんが、20日1時を23日1時に変更して頂けないでしょうか。

B. 勝手なお願いですみませんが、20日1時を23日1時に代えてもらえないでしょうか。C. 勝手なお願いで恐縮ですが、20日1時を23日1時に変更いたせないでしょうか。）

担当：わかりました。

短子：ありがとうございます。

《訪問の時に気になることがある！》

短子：お忙しいところ恐れ入りますが（A. もう一点、質問してもいいですか？ B. もう一点、お聞きになりたいのですが。C. もう一点、質問させて頂いてもよろしいですか？）

担当：はい、どうぞ。

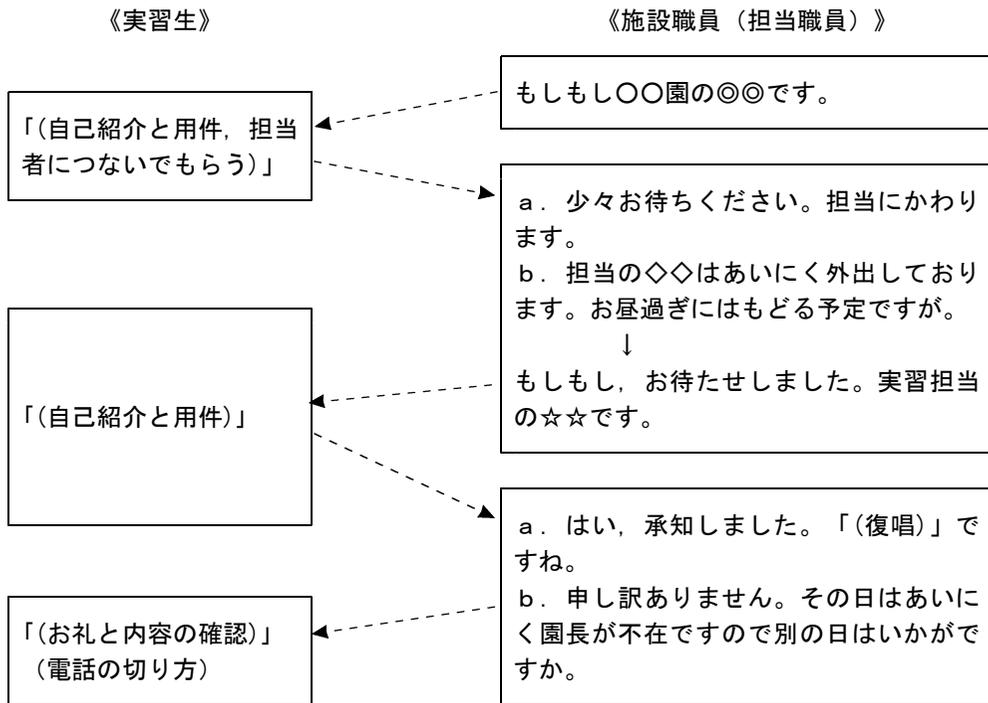
短子：オリエンテーション当日なのですが（例：子どもと触れ合える機会がございますか。何う際の服装のことが気になりまして、等）

短子：では、23日の1時に伺わせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひします。

担当：はい、お待ちしております。

短子：（A. ガチャッ！（電話を切る） B. お忙しいところお時間を頂き、ありがとうございました。）

◆ エクササイズ：ロールプレー図を参考に実際に電話をかけてみよう



2. 訪問するときのマナー…明るくにこやかにさわやかな印象を!

◆ 訪問にふさわしくないところはどこでしょうか。

服装



言葉遣い

- ・相手の話に対しては?

態度

- ・あいさつは?
- ・携帯電話の電源は?
- ・コートは?
- ・脱いだ靴は?
- ・部屋に入るときは?
- ・話を聞くときには?

高松大学紀要

第 46 号

平成18年 9月25日 印刷

平成18年 9月28日 発行

編集発行

高 松 大 学

高 松 短 期 大 学

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087) 841-3255

FAX (087) 841-3064

印 刷

株式会社 美巧社

高松市多賀町1-8-10

TEL (087) 833-5811